

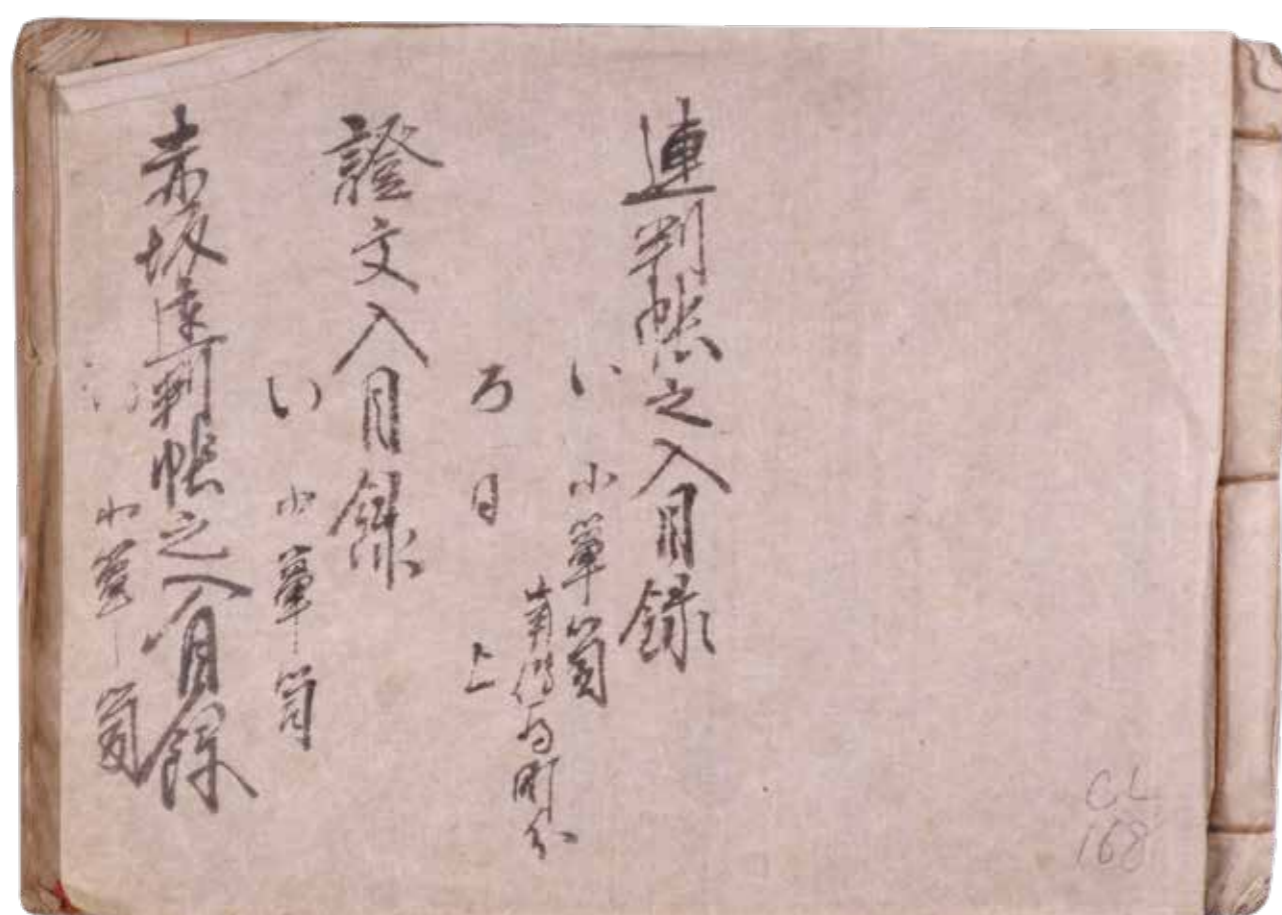
町名主のアーカイブズ

— 南伝馬町名主高野家文書

南伝馬町名主高野家は、徳川家康が江戸に入った天正18年(1590)に、諸国道中伝馬役と居所宝田村の支配名主役を命じられた由緒を誇る草創名主の家です。

高野家には、連判帳・証文・人別帳といった町支配に関わる記録が大量に保管され、「引出」「小箆筒」「渋貼箱」といった保存容器に収納されていました。それらには詳細な目録やインデックスが付され、検索・利用するための工夫がなされています。

東京都公文書館所蔵の高野家文書は、関東大震災直後、東京市史編纂室が購入し、戦時中の文書疎開を経て東京都公文書館に引き継がれています。



連判帳之入目録証文入目録
赤坂連判帳之入目録(表紙)



町奉行所は法令の徹底と遵守を図るため、町触を伝達した上で承知した旨を署名捺印で確認させた。名主の手元にはこうした連判帳が保管されることになった。